

6. 医療・保険・福祉について うかがいます。

- ・医療とは、病気や怪我を病院で治すことです。
- ・保険とは、病気になったり、けがをしたときの必要なお金を助ける決まりのことです。
- ・福祉とは、困った人の生活を助けることです。

Q28 あなたは過去1年間で、病気になったときに次のような経験はありますか。
(それぞれ1つに○)

1 病院がどこにあるか分からなくて、病院に行けなかった	1. ある 2. ない
2 医者の話す言葉がわからなかった	1. ある 2. ない
3 病院の職員(病院に勤めている人)や医者などに差別的なことを言われた	1. ある 2. ない
4 病院や薬局(薬を売っている店)の説明がわからなかった	1. ある 2. ない
5 病院で払ったお金が高かった	1. ある 2. ない
6 言葉がわからないので、病院に行かなかった	1. ある 2. ない
7 お金がかかるので、病院に行かなかった	1. ある 2. ない

Q29 あなたは、今、どのような健康保険(医療保険)に入っていますか。
(当てはまるもの全部に○)

(健康保険とは、病気になったり、けがをしたときの必要なお金を助ける決まりのことです。)

1 仕事先の健康保険(kenkohoken)	2 国民健康保険(kokuho)
3 民間の生命保険	4 海外旅行保険や留学保険
5 保険に入っているが、どの保険かわからない	6 その他()
7 入っていない	

Q30 あなたは、今、どのような年金に入っていますか。(当てはまるもの全部に○)
(年金とは、年をとったとき、お金がもらえる決まりのことです。)

1 仕事先の年金(厚生年金など。家族として入っている場合も含む)	
2 国民年金	3 母国(生まれた国)の年金
4 民間の年金	5 年金に入っているが、どの年金かわからない
6 その他()	
7 入っていない	

Q31 あなたは、これまで、次の制度を利用したことがありますか。（それぞれ1つに○）

1 生活保護	1. 今、受けている	2. 昔、受けていた	3. 受けたことはない
2 児童扶養手当	1. 今、受けている	2. 昔、受けていた	3. 受けたことはない
3 就学援助	1. 今、受けている	2. 昔、受けていた	3. 受けたことはない
4 在日外国人高齢者給付金	1. 今、受けている	2. 昔、受けていた	3. 受けたことはない
5 外国人身心障がい者給付金	1. 今、受けている	2. 昔、受けていた	3. 受けたことはない

- ・生活保護とは、生活のための、お金を援助してもらうことです。
- ・児童扶養手当とは、親がひとり、子どもを育てている家がもらうお金のことです。
- ・就学援助とは、子どもが学校に通うために、お金を援助してもらうことです。
- ・在日外国人高齢者給付金とは、国籍によって国民年金をもらうことができなかった外国人の高齢者（年をとった人）がもらうお金です。
- ・外国人身心障がい者給付金とは、障がいのある人がもらう年金を受けることができない外国人の中で、重度身心障がい者がもらうお金です。

Q32 あなたは、過去5年間に家族を介護（病気になった人や年をとった人の生活を助けること）したり、介護を受けたりしたことがありますか。（1つに○）

1 ある	2 ない → Q33 へ
------	--------------

Q32で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

Q32-1 あなたは、介護で以下のような経験をしたことはありますか。（それぞれ1つに○）

1 介護サービスを利用したいが、利用できない	1. ある 2. ない
2 介護に必要なお金が高い	1. ある 2. ない
3 介護保険制度（介護に必要なお金を、援助する決まり）がわからない	1. ある 2. ない
4 近くに利用できる介護の施設（建物や場所）が足りない	1. ある 2. ない
5 言葉や習慣の違いに気がつけたサービスを受けることができない	1. ある 2. ない
6 同国人（同じ国で生まれた人）のヘルパー（介護の仕事をしている人）に介護してほしいが、介護してもらえない	1. ある 2. ない

7. 出産（子どもを産むこと）・子育て（子どもを育てること）・教育について
うかがいます。

Q33 あなたは今、一緒に住んでいる18歳以下のお子さんがいますか。（1つに○）

1 いる

2 いない →Q34へ

Q33で「1 いる」と答えた方にお聞きします。

Q33—1 あなたは日本での出産・子育て・教育・学校のことで困る（困った）こと、心配する（心配した）ことがありますか。（それぞれ1つに○）

1 母子健康手帳をもらったが内容がわからない	1. ある 2. ない
2 妊娠中（子どもがお腹にいますとき）の健康診断（体が健康かどうか調べること）を受ける方法がわからない	1. ある 2. ない
3 子どもを産むために病院に行くとき言葉が通じない	1. ある 2. ない
4 子どもの健康診断や予防接種（病気にならないための注射）を受ける方法がわからない	1. ある 2. ない
5 子どものことを相談できる人や場所がない	1. ある 2. ない
6 日本の子育てや教育の仕組みがわからない	1. ある 2. ない
7 働くために子どもを預けたいが、どうすればよいのかわからない	1. ある 2. ない
8 子育てや教育に必要なお金が高い	1. ある 2. ない
9 幼稚園や保育所、学校に子どもを通わせるための手続きがわからない	1. ある 2. ない
10 幼稚園や保育所、学校からの連絡（案内）の内容がわからない	1. ある 2. ない
11 先生や他の親と会話ができない	1. ある 2. ない
12 日本語がわからないため、親として勉強を教えることができない	1. ある 2. ない
13 塾や習い事に必要なお金が高い	1. ある 2. ない
14 子どもが仲間はずれになったり、いじめられたりする	1. ある 2. ない
15 子どもが悪いこと（不良行為）をしないか心配だ	1. ある 2. ない
16 子どもが授業の内容を理解できないのではないかと心配だ	1. ある 2. ない
17 子どもが母語（子どもの時に最初に覚えた言葉やルーツのある国の言葉）や母国（生まれた国、またはルーツのある国）の文化を勉強することができない	1. ある 2. ない
18 日本の保育や学校の慣習にしがうことを求められる	1. ある 2. ない
19 受験や進学の方法がわからない	1. ある 2. ない
20 進路（将来の就職や進学のこと）について子どもと意見があわない	1. ある 2. ない
21 子どもが日本語があまりできないので、高校に入学するための試験に合格することが難しい	1. ある 2. ない

Q33—2 あなたは 子どもに どこまで 教育を受けさせたいですか。(1つに○)

1 中学まで	2 高校まで	3 短大・専門学校まで	4 大学まで
5 大学院	6 まだ わからない	7 その他 ()	

8. 差別・差別的な言動(いわゆる「ヘイトスピーチ」)について うかがいます。

Q34 あなたは 過去 5年間に 次の ような 経験をしたことがありますか。(それぞれ 1つに○)

1 職場や 学校の人が 外国人に 偏見を 持っていて、人間関係が うまくいかなかった(親しく できなかった)	1. よくある 2. たまにある 3. ない
2 職場・学校で、外国人であることを 理由に いじめを受けた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
3 名前が 日本人風でないことによって 嫌がらせを受けた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
4 外国人であることを 隠すように いわれた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
5 日本語が うまく 使えないことで 嫌がらせを受けた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
6 知らない人から シロシロ 見られた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
7 バスや 電車、ショッピングセンターなどで 自分を 避けるようにされた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
8 「外国人に 見えないから 大丈夫」など、外国人であることが 良くないことのように いわれた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
9 人に 話しかけたが 無視された	1. よくある 2. たまにある 3. ない
10 日本人との 交際・結婚について、外国人であることを 理由に 相手の 親などから 反対された	1. よくある 2. たまにある 3. ない
11 日本人の 家族などから、自分の 子どもに 生まれた 国(地域)の 文化や 言葉を 教えてはいけな いと いわれた	1. よくある 2. たまにある 3. ない
12 日本人の 家族などから、生まれた 国(地域)やその文化について、侮辱されたり、からかわれたりした	1. よくある 2. たまにある 3. ない

Q35 あなたは、日本に 住む 外国人を 排除するなどの 差別的な デモ、街頭宣伝活動、
ビラ・チラシ、インターネットでの 書き込みなどを 見たり、聞いたりしたことはありま
すか。(それぞれ 1つに○)

1 直接 見た	1. よくある 2. たまにある 3. ない
2 インターネットで 見た	1. よくある 2. たまにある 3. ない
3 テレビ・新聞などで 見た	1. よくある 2. たまにある 3. ない
4 家族や 知り合いなどから 聞いた	1. よくある 2. たまにある 3. ない

Q35で「よくある」「たまにある」に 1つでも ○をつけた 方にお聞きします。

Q35—1 それを見たり、聞いたりした時に どのように 感じましたか。

(当てはまるもの 全部に○)

1 不快に 感じた	2 許せないと感じた
3 なぜ そのようなことを するのか 不思議に 感じた	
4 日本で 生活することに 不安や 恐怖を 感じた	
5 日本人や 日本社会に 対する 見方が 悪くなった	
6 何も 感じなかった	7 その他 ()

9. 防災について うかがいます。

Q36 あなたは 災害(地震や 台風など)が 起きた時の ために どんな 準備をしていますか。

(当てはまるもの 全部に○)

1 家族との 連絡方法を 決めている	
2 飲み水や 食料を 準備している	
3 逃げる時に 必要なもの(ラジオ、薬、現金など)を 準備している	
4 地震が 起きたときに 家具が 倒れないようにしている	
5 防災マップ(逃げる 場所が 書いてある 地図)で 逃げる 場所を 確認している	
6 近所で 行われる 防災訓練(地震や 台風などから 体を守る 練習)に 参加している	
7 その他 ()	
8 何もしていない	

Q37 あなたは地震、津波、台風などの災害の情報をどこから手に入れていますか。
(当てはまるもの全部に○)

- | | |
|---------|--|
| 友人・知り合い | 1 日本人
2 同じ国籍の人・同じルーツの人
3 日本以外の他の国籍の人 |
|---------|--|
- 家族(子どもやパートナーなど)
 - 会社・学校
 - 近所の日本人・町会(町内会)の人
 - 日本語教室の先生やボランティア
 - 外国人を支援する(困っている人を、助ける)団体
(団体名:)
 - 役所(大阪市役所や区役所)の電話や窓口
 - (公財)大阪国際交流センターの「外国人のための相談窓口」
 - (公財)大阪国際交流センターのホームページやFacebook
 - 大阪市の災害多言語支援センター
 - 大使館・領事館
 - 教会・宗教の施設(建物や場所)
 - 日本の新聞・テレビ・ラジオ
 - インターネット・SNS
 - その他 ()
 - 手に入れる方法がない

Q38 あなたは災害に備えた準備をするために、どのようなことが知りたいですか。
(特に欲しい情報に○(5つまで))

- 災害が起こるとどのような被害がおこるか(地震、台風などの知識)
- 災害が起こると生活にどのような影響があるか
- 外国語で災害の情報を伝えるテレビやラジオ、インターネットなどの情報
- 家に居ると危ないときに逃げる場所や逃げる方法
- 避難所(逃げる場所)を利用する方法、利用できるサービス、過ごし方
- 電話やインターネットが使えなくなった時に、家族などに連絡する方法
- 災害が起こった時のために、準備しておくもの(食料や便利な道具など)
- 地震が起こっても安全な家にする方法
- 防災訓練(災害から体を守るための練習)に参加する方法
- その他 ()

10. 多文化共生について うかがいます。

Q39 外国人や日本人など、色々な文化を持つ人たちが一緒に生活することができる社会（多文化共生社会）をつくるために、あなたは次のようなことは重要だと思いますか。（それぞれ1つに○）

	とても 重要 である	じょうよう 重要 である	あまり じょうよう 重要 ではない	じょうよう 重要 ではない	わから ない
1 外国人が何でも相談することができる窓口をつくる	1	2	3	4	5
2 役所の窓口に通訳者や通訳機を置く	1	2	3	4	5
3 やさしい日本語のパンフレットを多くして、役所で働く人は、やさしい日本語を話す	1	2	3	4	5
4 役所の建物で外国語の表示を増やす	1	2	3	4	5
5 役所で働いている人が外国人についてよく理解する	1	2	3	4	5
6 役所のホームページをわかりやすくする	1	2	3	4	5
7 外国語の案内を多くする	1	2	3	4	5
8 日本人が多文化共生を理解する	1	2	3	4	5
9 子どもたちが国籍や文化の違いを理解できるような教育を学校で行う	1	2	3	4	5
10 母国（生まれた国やルーツのある国）の言葉や文化に触れる機会や場所を増やす	1	2	3	4	5
11 外国人の意見を役所の仕事に活用するためのシステムを作る	1	2	3	4	5
12 外国人の役所の委員を多くする	1	2	3	4	5
13 役所で働く外国人を多くする	1	2	3	4	5
14 多文化共生を進めるためのきまりを役所でつくる	1	2	3	4	5



Q40 「多文化共生の地域づくり」を進めるにあたり、あなたは地域の日本人住民に対して何を望みますか。（それぞれ1つに○）

	おおいに望む	どちらかといえど望む	どちらかといえど望まない	望まない	わからない
1 外国の文化、生活習慣を理解するよう努める	1	2	3	4	5
2 日頃から、外国人の住民と言葉を交わす	1	2	3	4	5
3 日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する	1	2	3	4	5
4 外国語を習得するように努める	1	2	3	4	5
5 地域の外国人の住民との交流会など、交流の行事に参加する	1	2	3	4	5

Q41 「多文化共生の地域づくり」を進めるにあたり、あなたは以下のことをどの程度したいと思いますか。（それぞれ1つに○）

	おおいにしたい	機会があればしたい	あまりしたくない	したくない	わからない
1 日本の文化、生活習慣を理解するよう努める	1	2	3	4	5
2 日頃から、日本人住民と言葉を交わす	1	2	3	4	5
3 母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する	1	2	3	4	5
4 地域の日本人の住民との交流会など、交流の行事に参加する	1	2	3	4	5
5 相談窓口などでの通訳や翻訳のボランティア	1	2	3	4	5

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

